

平成30年度 後半期の重点事項【定時制の課程】

	後半期の重点目標
学力向上と学業継続	基礎学力およびコミュニケーション能力の向上（教務部・図書部・各教科） ・各教科の授業における指導に加え、総合的な学習の時間等を活用し、生徒が互いに自分の考えを伝えあう力を身に付けるよう指導する。 ・生徒個々の課題を共有し、生徒の課題や状況を理解しながら、学業継続の指導を行う。
規範意識と社会性の向上	基本的な生活習慣の確立（教務部・生徒指導部・保健厚生部・給食部） ・相手にきちんと伝わるように、あいさつができるよう指導する。 ・欠席や遅刻、欠課がなくなるよう指導する。 ・基本的な生活習慣の確立を継続的に指導する。
進路希望の実現	各種資格取得の推進及び進路希望の実現（進路指導部・各学年・各教科） ・ビジネス文書実務検定や普通自動車運転免許等の各種資格取得を勧める。 ・進路教室や進路だより、個別面談等を通し、進路意識の高揚を図る。
開かれた学校づくり	学校教育内容の積極的な発信（教務部・渉外部） ・ふくしま教育週間に合わせて公開授業を実施し、本校定時制の理解促進をはかる。 ・ホームページ等で学校行事に取り組む生徒のようすを公開する。 ・ホームページや保護者宛文書等で学校評価アンケートの結果を公開する。

〔各部における具体的な取組〕

部	具体的な取組
教 務 部	○漢字コンクールや読書指導を重視し、生徒に読む力、書く力を身に付けるよう指導する。 ○毎日の打合せや学習状況懇談会等をとおして、生徒個々の課題の共有を継続して行う。 ○学級担任との連携を密にし、生徒の欠席、欠課時数を把握する。
生徒指導部	○日常の授業や空き時間・各種行事等を通して、継続的にあいさつ等の指導を行う。 ○保健厚生部・給食部と連携し、食育と体調管理について重点的に指導する。
進路指導部	○基本的な生活態度や礼儀作法、学習態度についての指導を継続して行い、各種資格の取得を勧める。 ○受験のための面接指導計画を立て実施する。また、外部機関との情報交換を積極的に行う。
保健厚生部	○保健だよりや保健委員会活動により、インフルエンザ等の感染症予防に努める。 ○第2回健康教室では、薬物乱用防止教室を実施し、心身ともに健康で安全な生活態度や生活習慣を確立させる。
図 書 部	○開館日のPRを通して来館を促すとともに、読書指導や調べ学習・面談等で図書館を積極的に活用し、本が身近にある環境に親しむ態度を育む。
給 食 部	○ノロウイルス等の食中毒を防止する。 ○日頃の生徒の食生活から生活習慣病を引き起こす食塩の摂取過剰、食物繊維の摂取不足が問題視されている。給食でも減塩、食物繊維の摂取を目指して献立作成、調理を行う。 ○残食を減らすための工夫をする。特に減塩と食物繊維を摂るため、野菜の摂取を促す。
渉 外 部	○PTA会報の充実を図り、生徒の学校内外での活動の様子を発信する。 ○同窓会の総会に向けて、運営に協力する。
各 教 科	○自主教材の作成及び視聴覚教材の活用、電子黒板等の利用により、よりわかる授業の展開に努める。 ○「主体的、対話的で深い学び」の視点に立って授業の改善を図り、生徒が互いに自分の考えを伝えあう力を身に付けるよう指導する。